

# 令和7年度 優良事業改善事例について (概要)

# 1. 趣旨・背景

- 行政事業レビュー実施要領に基づき、事業の改善に向けた職員の意識改革・行動変容を促すため、<u>事業所管部局による自</u> 主的な事業改善の取組のうち、優れた取組を優良事業改善事例として選定
- 当省では、省内で優良事業改善事例を募集するとともに、行政事業レビュー推進チーム(会計課・業務改革課)内で該当 案件の検討を行った結果、3**事業を選定**
- 選定にあたっては、これまでのEBPMの取組、レビューシートの内容が当省の<u>「政策立案・効果検証のための成果指標の</u> 設定ガイド」に沿っているか等を中心に確認
- なお、優良事例は、各府省庁から行政改革推進事務局に提出され、EBPM推進委員会において紹介

## 2. 今年度の優良事業改善事例

- 中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金【経済産業政策局 地域経済産業政策課】
- 次期航空機開発等支援事業【製造産業局 航空機武器産業課】
- 半導体関連事業【商務情報政策局 情報産業課】

# 優良事業改善事例の内容①

### 中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金【積極的な期中分析、PDCA】

- 経済産業政策新機軸部会(第4次中間整理)における大規模EBPM事業の一つ。
- 公募申請者・採択者から得られる申請データ等を用いて、①公募申請者アンケート分析、②公募採択者の効果分析、③想定税収増効果分析を実施するなど、事業期間中に積極的にEBPMを実施。
- ・ 1次公募結果等を踏まえ、**2次公募要件に特別枠(早期投資への優遇措置)を措置するなど、随時の事業改善(PDCA)**を図っている。

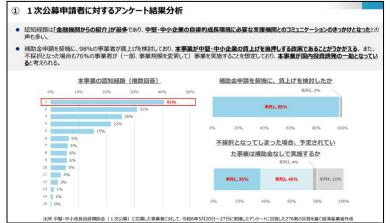
### ロジックモデル(概略)

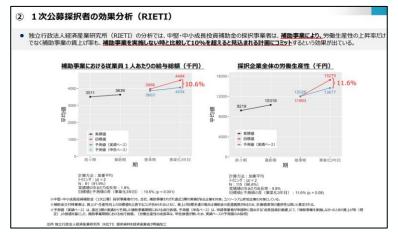
#### アクティビティ 短期アウトカム モニタリング指標 長期アウトカム 中堅・中小企業が、持続的な賃上げを目的に、交付決定企業の申請計画において、従業員 以下の指標を定期的にモニタリング 従業員1人当たり給与支給総総額伸び率が、 足元の人手不足に対応するための省力化等に 1人当たり給与支給総総額伸び率が、地域 ・事業の完了見込み ・設備投資額 地域別最低賃金伸び率を超えること よる労働生産性の抜本的な向上と事業規模の 別最低賃金伸び率を超えること ・売上高・従業員数 ・労働生産性 交付決定企業において時間当たり労働生産 拡大を図るために行う工場等の拠点新設や大 · 給与支給総額 等 交付決定企業の申請計画における労働生産 性の伸び率が年率10%以上の中堅企業数を 規模な設備投資に対して補助を行う 性伸び率が年率10%以上向上 増加させる

Ł

アンケート結果や効果分析等を踏まえ、必要に応じて本補助金の制度・運用を改善

#### 公募採択者の申請データ等に基づく効果分析







# 優良事業改善事例の内容②

### 次期航空機開発等支援事業【レビューシートの改善】

- 本事業は、2025レビューシート新規作成事業。素案段階では長期アウトカムが環境対策面のみであった。
- 行革事務局のガイドブック及び当省策定の「成果指標設定ガイド」の趣旨も踏まえ、担当課で自主的に検討した結果、環境対策面(G)
  のみならず、産業競争力の向上(X)に資するアウトカムも新たに設定され、全体的に、事業目的・事業内容に即した複線的なアウトカムが設定された。

#### <Before: 長期アウトカムが単一>

アクティビティ①②	①次期航空機開発プロジェクトへの参画・低燃費エンジン開発のための実証等支援	②エンジンMRO(※)の国内での実施体制構築のための設備投資支援
短期アウトカム①②	①本事業を通じた設備投 資・生産実証により次期航 空機開発プロジェクトに参 画する。	②エンジンの分解から試運転まで一貫した整備を実施する上で、高効率で稼働することが可能な体制や運用を構築する。
長期アウトカム①	①本事業を通じた2050年時点での脱炭素効果	

長期アウトカムが単一

#### <After:長期アウトカムに産業競争力の観点が追加>

	アクティビティ①②	①次期航空機開発プロジェクトへの参画・低燃費エンジン開発のための実証等支援	②エンジンMRO(※)の国内での実施体制構築のための設備投資支援
	短期アウトカム①②	①本事業を通じた設備投 資・生産実証により次期航 空機開発プロジェクトに参 画する。	②エンジンの分解から試運 転まで一貫した整備を実施 する上で、高効率で稼働す ることが可能な体制や運用 を構築する。
	長期アウトカム①	①本事業を通じた2050年時点での脱炭素効果	
	長期アウトカム②③	②次期航空機開発プロジェクトにおいて要求される月産80機レベルの生産レートに対応できる生産体制の実現	③海外からの受託も含めて 年間100台規模のエンジン MRO事業を展開
عسد			

事業目的に合わせて長期 アウトカムを2つ追加

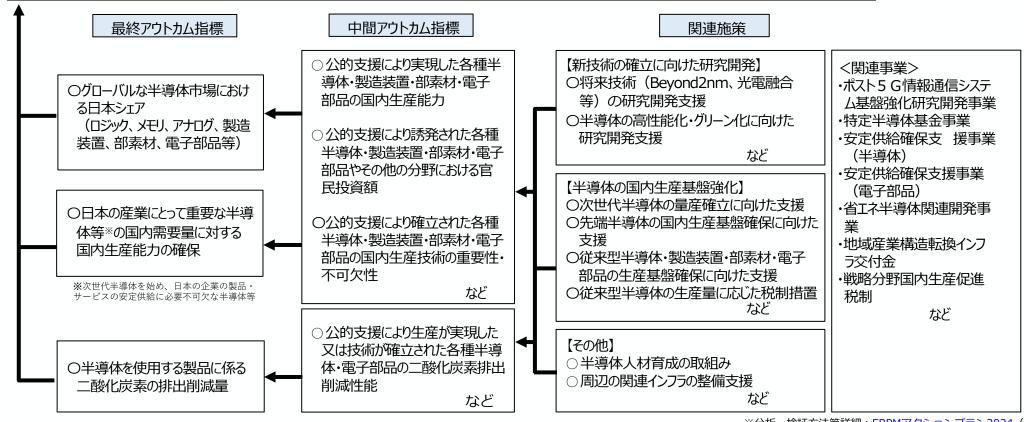
# 優良事業改善事例の内容③

### 半導体関連事業【政策単位でのEBPMの実施、複線的なアウトカム】

- 「EBPMアクションプラン2024」(経済財政諮問会議決定)のもと、事業単位ではなく、政策単位でのEBPMを実施。
- ・ 本事業の政策目標であるAI・半導体分野の<u>①産業競争力強化、②安定的な生産能力確保、③エネルギー効率化をそれぞれ最終アウトカ</u> ムに落とし込むとともに、具体的な**分析・検証方法等を確立**。さらに、進捗状況を点検・評価するため、KGI・KPIを定めている。
- 策定したロジックモデル等は、優良事例として第16回経済財政諮問会議おいて紹介されている。

### ロジックモデル(EBPMアクションプラン2024)

政策目標:我が国産業の発展と社会のデジタル化による高度化に必要不可欠なAI・半導体分野の産業競争力を強化させるとともに、安定的な生産能力を確保することで、経済安全保障を確保するとともにエネルギー効率化に繋げること。



4